

(提供者) 厚生労働省	-	提供者) 調剤業務の訓練の目的で薬局委員会が承認した次の機関 ① モナシユ大学ビクトリア薬学校 ② ラトローブ大学薬学部	-
-	-	(指導者の確保) 登録復帰のための再教育を受講した者は、 2004年度 9名 2005年度 7名 と少数であり、上記の実施機関等で十分受入可能。 近年、処分に基づき再教育の実績はない。	-

#### B-7. 再教育修了の認定要件

日本 厚生労働大臣が再教育研修修了の旨を登録し、修了登録証を交付。	米国 (テキサス州)	豪州 (ビクトリア州)	英国
-	-	薬局委員会が B-5. に示す各プログラムの修了を確認して認定。	-

#### B-8. 再教育実施の手順

日本 1) 行政処分を受けた者は、国に再教育研修受講申請を行う。 2) 集合研修を受講する。 3) 個別研修 (実務研修) を受講する者は、個別研修計画書を作成し、提出する。 4) 研修リポートを作成し、提出す	米国 (テキサス州)	豪州 (ビクトリア州)	英国
-	-	1) 薬局委員会に以下の事項を提示し、登録復帰を申請する。 ・当該申請者が最初に薬剤師として登録された登録機関の名称 ・ビクトリア州において薬剤師として登録された最初と最後の各年 ・登録から名前が削除された理由	-

<p>る。</p> <p>5) 個別研修については、修了後、報告書を作成し、提出する。</p> <p>6) 国は、再教育研修の修了を確認。</p>	<p>・過去2年間、豪州において薬局業務を行った薬局・薬剤部の名称及び所在地とその日時</p> <p>2) 登録復帰申請者が豪州、ニュージーランド、英国又はアイルランドにおいて2年以上薬剤師として業務していない場合、薬局委員会の担当委員会の面接を受ける。</p> <p>3) 担当委員会は、以下の要素を勘案して当該申請者にとって必要な再教育の内容を査定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該申請者が薬剤師業務を最後に行った時からの期間</li> <li>・当該申請者が最初の登録以降、業務に従事した場所及びその時期</li> <li>・当該申請者が最近の薬学的治験及び豪州における薬剤師業務について最新の状況を得ていた方法</li> </ul> <p>4) 薬局委員会は、再教育の期間及び評価の内容、その他登録復帰に必要な事項を定め、当該申請者に伝える。</p> <p>5) 再教育期間中は必ず薬局委員会が再教育開始前に承認した薬剤師とともに業務を行わなければならない、当該申請者はその期間中は登録前の状態を保つ。</p>	
---	--	--

主な参考資料

【日本】

- 1) 薬剤師法
- 2) 薬剤師法施行規則
- 2) 「薬剤師に対する再教育研修の実施について」平成20年3月31日付け薬食発第0831001号厚生労働省医薬食品局長通知
- 3) 望月正隆「行政処分を受けた薬剤師に対する、事例を想定した再教育研修プログラムの策定に関する研究」報告書（平成19年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業））

【米国（テキサス州）】

- 1) TSBP Annual Report FY2008
- 2) TSBP Annual Report FY2005
- 3) Texas Pharmacy Act (Occupations Code, Title 3, Subtitle J)
- 4) TSBP policies/procedures
- 5) TSBP Rules regarding Disciplinary Guidelines
- 6) TSBP Home Page (<http://www.tsbp.state.tx.us/index.htm>)

【豪州（ビクトリア州）】

- 1) PBV Annual Report 2004~2007
- 2) GUIDELINES For Good Pharmaceutical Practice (2004 incorporating 2005 amendments)
- 3) Pharmacy Practice Act 2004
- 4) Pharmacists (Interim) Regulations 2004
- 5) PBV Home Page (<http://www.pharmacybd.vic.gov.au/>)

【英国】

- 1) Annual review 2008
- 2) RPSGB Statutory Committee Indicative Sanction Guidance
- 3) Statutory Committee Annual Report - 2005
- 4) Statutory Committee: Annual Report 2006
- 5) Registration and fitness to practice a consultation on new procedures
- 6) RPSGB Home Page (<http://www.rpsgp.org/>)

## 資料 4

## 資料4-1

### 薬剤師倫理規定と平成 20 年度調査結果との関連に関する考察

平成 20 年度は、一般国民 1000 人を対象として薬剤師の倫理・責任に対する経験・認知・評価・期待を把握するための調査を行った。その調査項目のうち、日本薬剤師会の薬剤師倫理規定の注釈を参考に、薬剤師倫理規定の各条と関連が深いと思われる項目を選定し（資料 4-2 参照）、その項目の経験・認知・評価・期待の状況から、平成 21 年度は、薬剤師に求められる倫理について考察した。なお、倫理規定第 1 条（任務）は多くの項目が該当すること、また、第 2 条（良心と自律）には適切な項目が見あたらなかったため、第 3 条から第 10 条までの関連を検討した。

#### 第 3 条(法令遵守)

薬剤師業務の多くは法令に基づいて行われているが、その中に含まれる守秘義務、処方せん確認義務、相談応需義務、副作用報告義務を認知している人の割合は、守秘義務及び処方せん確認業務が約 6 割、相談応需義務が約 3 割、薬剤師の副作用報告義務（医薬品医療機器安全性情報報告制度）が約 1 割であった。薬剤師の副作用報告義務に関する認知の低さは、薬害防止への貢献に関する評価の低さとも関連すると思われる。患者の安全確保に貢献する薬剤師像を国民に認識してもらうためには副作用報告義務の責務遂行に薬学関係者が一丸となって早急に取り組むべきと考える。

#### 第 4 条(生涯研鑽)

認知している人の割合は低く、後進の育成の一つである薬学生の指導については約 2 割、生涯研修の制度及び専門薬剤師については 2 割未満であった。また、薬剤師が専門知識と技能の習得に努めていると思う人は 4 割以上を占めたが、「どちらともいえない」とする人も同程度の割合を占めた。生涯研鑽に対する認知が低いことが、評価にも結びついていると考えられた。薬学生指導に関しては、平成 22 年度から長期実務実習が開始されることから今後認知度は高くなるものと思われる。むしろ、意識して生涯研鑽に関しての認知・評価を高める努力が重要であろう。厚生労働省医政局の「チーム医療の推進に関する検討会」が平成 22 年 3 月に纏めた今後の薬剤師業務の拡大に示された業務を実践する上では今まで以上の研鑽する姿を国民に示すことも必要である。

#### 第 5 条(最善尽力義務)及び第 8 条(職能間の協調)

この 2 つの条項に、患者の安全確保・保健・福祉に全力を挙げて取り組んでいる姿、その際同胞や他の医療従事者と連携して取り組んでいる姿と捉えて、国民の認知・評価・期待をみた。病棟に薬剤師がいることを認知している人は約 2 割、病院薬剤師が他の医療職と協力して薬の使用を考えていることを認知している人は約 3 割であった。薬剤師が病気

の治療を支援してくれると思うかについては「どちらともいえない」の割合が約 4 割を占めていること、また薬害防止に貢献してきたと考える人の割合も約 2 割と低いことから、薬剤師が医療の担い手として職能の最善を尽くしていると考えている人は多くないと考えられた。また、福祉・介護に関して薬剤師に相談したことがある人の割合は 1 割に満たず、福祉の領域において薬剤師の役割が発揮されていないことが推測できる。今後、他の医療職と力を合わせて薬害防止や福祉・介護の分野に取り組む姿を示す必要があると思われた。

#### **第 6 条(医薬品の安全性等の確保)**

この条項は、薬剤師に求められる特有の倫理である。適正使用のための医薬品の管理や有効性と安全性への取組、患者への十分な説明に該当する項目を選定した。また、後発医薬品への取組に関しても選定した。薬を買った時の説明は約 6 割、病院における治療薬の説明は約 5 割が受けた経験があると回答した。薬剤師が提供する情報が役に立つと考える人は約 7 割おり、薬剤師から薬の情報を聞きたいと考えている人も約 7 割を占め、体調が変化したときに薬剤師に相談したいと考える人は約 6 割を占めた。薬剤師の説明を聞いて治療に取り組む気持ちになった人は約 2 割を占めた。説明を受けたことがある者の割合は高いとはいえないが、その割合に対して薬剤師の説明・情報提供に対する評価及び期待は比較的高いと考えられた。医薬品の不適正な使用の結果、惹起される重篤な副作用等に対しても、適正使用啓発活動を活発に行うことで、さらに薬剤師への期待が高まるのではないかと思われた。一方、後発医薬品の選択については薬剤師に相談に乗って欲しいと期待する人の割合に対して実際に説明を受けた人の割合は低く、今後の貢献が望まれる事項である。さらに、患者の薬歴を一元的に管理する上で薬手帳は重要なツールであるが、常時携帯を指導されている人は 2 割に満たず、安全性確保の観点からは今後さらに注力すべき事項と考えられた。

#### **第 7 条(地域医療への貢献)**

地域医療への貢献では、健康増進や在宅医療への参画、災害時対応、学校薬剤師としてのくすり教育、薬物乱用防止啓発活動、環境衛生等への薬剤師の関わりが考えられる。薬剤師が主催する地域活動への参加及び生活改善について相談したことがある人は 1 割に満たず、現状では（治療ではなく）健康維持・健康増進のために薬剤師と関わることは少ないと考えられたが、健康な生活を送るために薬剤師からアドバイスを受けたいと考える人は 5 割近くを占めた。また、学校薬剤師、災害時の活動の認知は 2 割未満であった。全体的に薬剤師の関わりは低いと認知・評価されている。このことは、薬剤師とのコミュニケーションがとりやすい、どちらともいえないとする人の割合からも薬剤師が未だに地域に密着した業務を行っているとは認識されていないことが示唆された。しかし、「かかりつけ薬剤師」が欲しいとする人の割合は 5 割を超えていることから、今後の行動が重要と考えられた。

## 第 9 条(秘密の保持)

守秘義務が課せられていることを認知している人は約 6 割を占めたが、薬剤師が個人情報収集する意義を認知している人は約 4 割であった。また、薬剤師がプライバシーを保護していると考えている人は半数に達しておらず、その原因を把握することが必要と考えられた。

## 第 10 条(品位・信用等の維持)

医薬品販売時の行為や麻薬・覚せい剤への関わり等、薬剤師の行為に関する条項に対して、薬剤師の行動を品位ある行動及び誠実な行動ともに約半数が「どちらともいえない」と回答したが、薬剤師という職業については「信頼できる」と考える人が半数を超えた。

薬剤師の薬物乱用防止における貢献に対する認知は低い。薬物乱用防止や薬害防止に貢献する姿を示して薬剤師の真の信頼度向上に努める必要があると思われた。

今後、コミュニケーション技術をさらに向上させ、国民に「自分にはいつでも相談できる薬剤師がいる」と言葉にしてもらえる薬剤師を一人ひとりが目指して努力しなければならないと考えられた。

平成 20 年度の結果からは、薬剤師が処方せん調剤や市販薬の販売を通じて薬の専門家としては認知されているものの、薬物治療の支援者としての認識はまだ低いこと、さらに、福祉、健康維持、生活環境の改善における薬剤師の役割は大部分の人に認識されていないことが示された。薬剤師倫理規定の条文は、多くの人々の前で述べる「誓いの言葉」として表現されている特徴を持つとされているが、現時点では薬剤師の役割として社会から認知されていることはその一部に限られていることが推察され、国民に対する薬剤師業務の啓発が不十分であるとともに、倫理規範と薬剤師の社会に向けた行動とが合致していない可能性が示唆された。

資料4-2

薬剤師倫理規定と平成20年度調査結果との関連データ

第3条 薬剤師は、薬剤師法、薬事法、医療法、健康保険法その他の関連法規に精通し、これら法令等を遵守する。

5. 処方せんについて薬剤師から医師への問合せ有無		
調査数	ある	ない(ないと思う・わからない)
880	149	731
100.0	16.9	83.1

23. 薬剤師が他の使用薬との重複などをチェックしていること		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	572	428
100.0	57.2	42.8

24. 疑わしい点を見つけた場合処方医に問合せなければならない		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	395	605
100.0	39.5	60.5

25. 薬剤師には薬の使用期間中、相談に応じる役割があること		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	263	737
100.0	26.3	73.7

26. 薬剤師が副作用を発見した時に厚生労働省に報告している		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	118	882
100.0	11.8	88.2

28. 薬剤師には個人情報に関して守秘義務が課せられている		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	586	414
100.0	58.6	41.4

45. 薬剤師は、これまで薬害防止に貢献してきた									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	232	25	207	574	155	39	194	3.02	
100.0	23.2	2.5	20.7	57.4	15.5	3.9	19.4		

第4条 薬剤師は、生涯にわたり高い知識と技能の水準を維持するよう積極的に研鑽するとともに、先人の業績を顕彰し、後進の育成に努める。

34. 薬剤師が薬局や病院で実習中の薬学生の指導にあっている		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	200	800
100.0	20.0	80.0

38. 特定分野の専門的な知識や技術を身につけた薬剤師がいる		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	143	857
100.0	14.3	85.7

39. 薬剤師には自己研鑽していることを証明する認定制度がある		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	130	870
100.0	13.0	87.0

50. 薬剤師は、専門知識と技能の習得に努めている									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	456	46	410	445	84	15	99	3.39	
100.0	45.6	4.6	41.0	44.5	8.4	1.5	9.9		



第5条 薬剤師は、医療の担い手として、常に同僚及び他の医療関係者と協力し、医療及び保健、福祉の向上に努め、患者の利益のため職能の最善を尽くす。

第8条 薬剤師は広範に亘る薬剤師職能間の相互協調に努めるとともに、他の関係職能をもつ人々と協力して社会に貢献する。

3. 薬局で「お薬手帳を見せてください」と言われたこと			
調査数	ある	ない	
1000	331	669	
100.0	33.1	66.9	

5. 処方せんについて薬剤師から医師への問合せ有無			
調査数	ある	ない(ないと思う・わからない)	
880	149	731	
100.0	16.9	83.1	

9. 薬代などの医療費の負担について、薬剤師に相談したこと			
調査数	ある	ない	
1000	67	933	
100.0	6.7	93.3	

12. 薬局で、薬剤師とそうでない販売員との区別がつく			
調査数	はい	いいえ	
797	335	462	
100.0	42.0	58.0	

14. 薬局で買うときに自分に合った適切な商品を選んでくれる			
調査数	はい	いいえ	
797	459	338	
100.0	57.6	42.4	

15. 薬局で相談をした時に受診するよう勧められたことがある			
調査数	はい	いいえ	
797	74	723	
100.0	9.3	90.7	

19. 介護や福祉について、薬剤師に相談したこと			
調査数	ある	ない	
1000	37	963	
100.0	3.7	96.3	

31. 病院の病棟(病室のあるフロア)に薬剤師がいること			
調査数	知っていた	知らなかった	
1000	247	753	
100.0	24.7	75.3	

32. 病棟で薬剤師が他の医療職とともに薬の使用について考えている			
調査数	知っていた	知らなかった	
1000	342	658	
100.0	34.2	65.8	

44. 薬剤師は、病気の治療に取り組むときに、支援してくれる									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	455	49	406	438	88	19	107	3.38	
100.0	45.5	4.9	40.6	43.8	8.8	1.9	10.7		

45. 薬剤師は、これまで薬害防止に貢献してきた									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	232	25	207	574	155	39	194	3.02	
100.0	23.2	2.5	20.7	57.4	15.5	3.9	19.4		

47. 薬剤師は、医師や看護師など他の医療職と連携をとっている									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	538	80	458	380	70	12	82	3.52	
100.0	53.8	8.0	45.8	38.0	7.0	1.2	8.2		

57. 薬治療が行われる時に薬剤師にもっと関わってほしい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	535	115	420	390	60	15	75	3.56	
100.0	53.5	11.5	42.0	39.0	6.0	1.5	7.5		

第6条 薬剤師は、常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努める。また、医薬品が適正に使用されるよう、調剤及び医薬品の供給に当たり患者等に十分な説明を行う。

4. 薬剤師から、お薬手帳を常時持ち歩くように言われたこと			
調査数	ある	ない	
1000	187	813	
100.0	18.7	81.3	

8. 薬剤師から領収書の説明有無			
調査数	ある	ない	
880	374	506	
100.0	42.5	57.5	

10. 後発医薬品への変更について薬剤師から説明を受けたこと			
調査数	ある	ない	
1000	144	856	
100.0	14.4	85.6	

13. 薬局で薬を買うときに、薬剤師から説明を受けたことがある			
調査数	はい	いいえ	
797	491	306	
100.0	61.6	38.4	

16. 病院で薬剤師から治療に使う薬について説明を受けたこと			
調査数	ある	ない	
1000	513	487	
100.0	51.3	48.7	

20. 薬剤師の説明を受けて治療に取り組む気持ちになったこと			
調査数	ある	ない	
1000	181	819	
100.0	18.1	81.9	

30. 調剤薬局で支払う金額には薬の説明等の代金も含まれている			
調査数	知っていた	知らなかった	
1000	364	636	
100.0	36.4	63.6	

42. 薬剤師が提供する薬の情報は、自分にとって役立つ									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	682	101	581	254	52	12	64	3.71	
100.0	68.2	10.1	58.1	25.4	5.2	1.2	6.4		

45. 薬剤師は、これまで薬害防止に貢献してきた									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	232	25	207	574	155	39	194	3.02	
100.0	23.2	2.5	20.7	57.4	15.5	3.9	19.4		

55. 薬に関する情報を薬剤師から聞きたい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	703	151	552	242	45	10	55	3.79	
100.0	70.3	15.1	55.2	24.2	4.5	1.0	5.5		

56. 薬を使用時に体調が変化したときに、薬剤師に相談したい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	570	107	463	316	95	19	114	3.54	
100.0	57.0	10.7	46.3	31.6	9.5	1.9	11.4		

58. 後発医薬品の選択について、薬剤師に相談したい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	579	144	435	345	63	13	76	3.63	
100.0	57.9	14.4	43.5	34.5	6.3	1.3	7.6		

59. 市販薬を買うときに、薬剤師に相談したい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	633	149	484	287	63	17	80	3.69	
100.0	63.3	14.9	48.4	28.7	6.3	1.7	8.0		

第7条 薬剤師は、地域医療向上のための施策について常に率先してその推進に努める。

9. 薬代などの医療費の負担について、薬剤師に相談したこと		
調査数	ある	ない
1000	67	933
100.0	6.7	93.3

17. 薬剤師が主催する薬や健康に関する催しに参加したこと		
調査数	ある	ない
1000	34	966
100.0	3.4	96.6

18. 生活習慣の改善や禁煙について、薬剤師に相談したこと		
調査数	ある	ない
1000	68	932
100.0	6.8	93.2

33. 薬剤師が、在宅医療に関わっていること		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	141	859
100.0	14.1	85.9

35. 小学校や中学校には、学校薬剤師がいること		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	129	871
100.0	12.9	87.1

36. 学校薬剤師が学校の環境衛生維持や薬教育に関わっている		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	109	891
100.0	10.9	89.1

37. 薬剤師が、災害時の救援に関わっていること		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	175	825
100.0	17.5	82.5

48. 薬剤師は身近な化学物質に対する疑問について答えてくれる									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	356	36	320	493	126	25	151	3.22	
100.0	35.6	3.6	32.0	49.3	12.6	2.5	15.1		

49. 薬剤師は麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止に貢献している									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	226	29	197	557	173	44	217	2.99	
100.0	22.6	2.9	19.7	55.7	17.3	4.4	21.7		

51. 薬剤師とは、コミュニケーションがとりやすい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	350	57	293	474	137	39	176	3.19	
100.0	35.0	5.7	29.3	47.4	13.7	3.9	17.6		

60. 健康な生活を送るために、薬剤師にアドバイスを求めたい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	453	78	375	418	105	24	129	3.38	
100.0	45.3	7.8	37.5	41.8	10.5	2.4	12.9		

61. 生活環境を良好に保つために薬剤師にアドバイスを求めたい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	337	52	285	484	143	36	179	3.17	
100.0	33.7	5.2	28.5	48.4	14.3	3.6	17.9		

62. いつでも相談できる「かかりつけ薬剤師」がほしい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	553	121	432	340	79	28	107	3.54	
100.0	55.3	12.1	43.2	34.0	7.9	2.8	10.7		

第9条 薬剤師は、職務上知り得た患者等の秘密を、正当な理由なく漏らさない。

27. 個人情報について聞くのは薬を安全に使ってもらうため		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	422	578
100.0	42.2	57.8

28. 薬剤師には個人情報に関して守秘義務が課せられている		
調査数	知っていた	知らなかった
1000	586	414
100.0	58.6	41.4

46. 薬剤師は、あなたのプライバシーを保護している									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	454	52	402	483	48	15	63	3.43	
100.0	45.4	5.2	40.2	48.3	4.8	1.5	6.3		

第10条 薬剤師は、その職務遂行にあたって、品位と信用を損なう行為、信義にもとる行為および医薬品の誤用を招き濫用を助長する行為をしない。

45. 薬剤師は、これまで薬害防止に貢献してきた									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	232	25	207	574	155	39	194	3.02	
100.0	23.2	2.5	20.7	57.4	15.5	3.9	19.4		

49. 薬剤師は麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止に貢献している									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	226	29	197	557	173	44	217	2.99	
100.0	22.6	2.9	19.7	55.7	17.3	4.4	21.7		

51. 薬剤師とは、コミュニケーションがとりやすい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	350	57	293	474	137	39	176	3.19	
100.0	35.0	5.7	29.3	47.4	13.7	3.9	17.6		

52. 薬剤師は、誠実な行動をとっている									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	474	46	428	460	50	16	66	3.44	
100.0	47.4	4.6	42.8	46.0	5.0	1.6	6.6		

53. 薬剤師は、品位ある行動をとっている									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	408	36	372	516	61	15	76	3.35	
100.0	40.8	3.6	37.2	51.6	6.1	1.5	7.6		

54. 薬剤師は、信頼できる職業だ									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	558	56	502	380	46	16	62	3.54	
100.0	55.8	5.6	50.2	38.0	4.6	1.6	6.2		

62. いつでも相談できる「かかりつけ薬剤師」がほしい									
調査数	●そう思う計	非常にそう思う 5	まあそう思う 4	どちらともいえない 3	あまりそう思わない 2	全くそう思わない 1	●そう思わない計	平均	
1000	553	121	432	340	79	28	107	3.54	
100.0	55.3	12.1	43.2	34.0	7.9	2.8	10.7		

## 資料 5

# How are pharmacists functioning in the Japanese community?

Fumiyuki Watanabe<sup>1</sup>, Miwako Kamei<sup>1</sup>, Yoichi Hasegawa<sup>2</sup>, Reiko Motojima<sup>3</sup>, Akira Nanaumi<sup>4</sup>, Kazushi Endo<sup>5</sup> and Suzuko Kubo<sup>6</sup>

<sup>1</sup> Showa University, Tokyo, Japan

<sup>2</sup> Meijo University, Nagoya, Japan

<sup>3</sup> Medical Tribune, Inc., Tokyo, Japan

<sup>4</sup> Japan Pharmaceutical Association, Tokyo, Japan

<sup>5</sup> Japanese Society of Hospital Pharmacists, Tokyo, Japan

<sup>6</sup> Japan Pharmacists Education Center, Tokyo, Japan

## Introduction

In Japan, the Pharmacists Act of 1960 stipulates that the duties of pharmacists are "to dispense and supply medications, and to provide other public health services related to pharmaceutical affairs."

Under this stipulation, pharmacists have been dedicated to dispensing and supplying medications for many years. In recent years, pharmacists have been more actively involved in medical care teams to ensure efficacy and safety of pharmacotherapy. In 2005, the required term of undergraduate pharmacy education for the national examination and licensure of pharmacist was extended from four to six years. The role of the pharmacist is expected to develop in the near future.

## Objective

To gain the trust of the public, pharmacists will need to take the roles that meet the public expectation. For this purpose, we must know the actual situation. Therefore, we surveyed current recognition and evaluation of, and future expectation for pharmacists from the public in this study.

## Setting

In October 2008, we conducted an online survey. The respondent (n=1,000) consisted of people of both sexes from 20 to 69 years of age who were registered at a list of a research company (NTT Visual Communications Corporation). Health care professionals and their family members were excluded from the respondents in advance.

## Method

At the beginning, we set five domains of the roles of pharmacists, that is, PATIENT SERVICES, PARTICIPATION IN MEDICAL TEAMS, COMMUNITY CARE, PATIENT EDUCATION, and CPD (continuing professional development). Then, we made 62 questions based on the domains. Questions were classified into four types, namely, respondents' experiences, recognition, evaluation, and expectation related to the roles of pharmacists. As for answers, we provided yes/no choices for experiences and recognition, and five-graded choices of "Completely agree", "Somewhat agree", "Neither agree nor disagree", "Somewhat disagree", and "Completely disagree" for evaluation, and expectation.

We also asked background information including their age, sex, occupation, highest education, and current outpatient status.

## Results

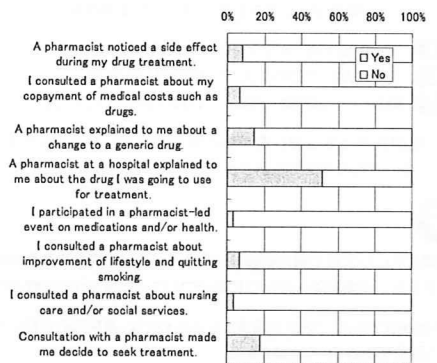


Fig. 1: Percentage of people who have experience in pharmacists' services and responsibilities

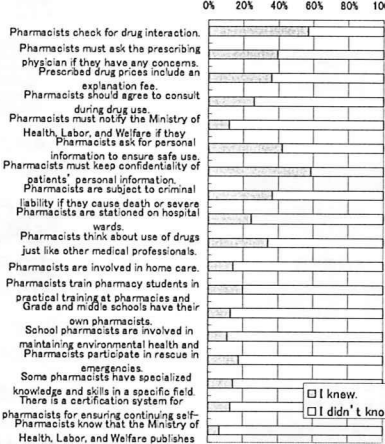


Fig. 2: Percentage of people who know pharmacists' services and responsibilities

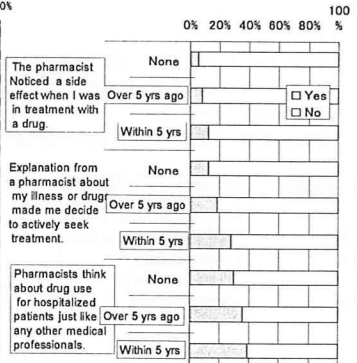


Fig. 3: Percentage of different experiences depending on the time hospitalized (Based on 639 respondents who had hospitalization experience)

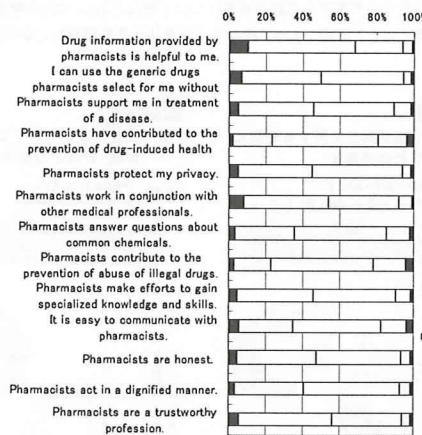


Fig. 4: Evaluations of pharmacists' services and responsibilities

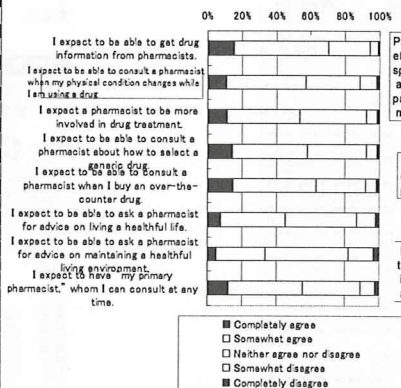


Fig. 5: Expectations for pharmacists' services and responsibilities

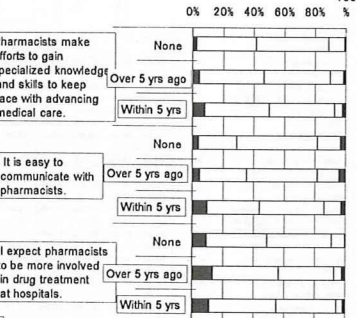


Fig. 6: Percentage of different evaluations and expectations depending on the time hospitalized (Based on 639 respondents who had hospitalization experience)

Table 1. Characteristics of Respondents

Item	N	Ratio
Sex	Male	503 50.3%
	Female	497 49.7%
Age	20s	181 18.1%
	30s	223 22.3%
	40s	188 18.6%
	50s	224 22.4%
	60s	186 18.6%
Outpatient	Currently an outpatient	339 33.9%
	Currently not an outpatient	661 66.1%
Hospitalization	I have been hospitalized before.	639 63.9%
	I have not been hospitalized before.	361 36.1%
Total	1000	100.0%

## Conclusions

The overall survey result indicated that pharmacists had not yet received high recognition of their competency and responsibility from the public as we had expected. Although more than half of the respondents had been provided medicines information from pharmacists, few had consulted pharmacists spontaneously about their affordability of medicines, life style modification, and welfare and so on. This may mean that pharmacists are not recognized as reliable advisers.

On the other hand, some results showed that respondents who had experiences of utilizing pharmacists' services, recent hospitalization or higher education tended to highly evaluate the roles of pharmacists.

It seems necessary to improve pharmacists' competency and also to show added value of their services to the public through active interaction with patients and consumers.



# 薬剤師の役割に関する一般国民の認識調査

○久保鈴子<sup>1</sup>、亀井美和子<sup>2</sup>、本島玲子<sup>3</sup>、長谷川洋一<sup>4</sup>、遠藤一司<sup>5</sup>、七海朗<sup>6</sup>

<sup>1</sup>(財)日本薬剤師研修センター、<sup>2</sup>昭和大学薬学部、<sup>3</sup>(株)メディカルトリビューン、

<sup>4</sup>名城大学薬学部、<sup>5</sup>(社)日本病院薬剤師会、<sup>6</sup>(社)日本薬剤師会

本研究は、厚生労働科学研究「薬剤師の役割と倫理規範に関する研究」の一環として実施した。

## 目的

個々の薬剤師が、薬剤師法第1条に掲げられた薬剤師の任務を確実に遂行し、質の高い医療を担ううえで必要な職業倫理上の基本的要素を探り、任務遂行の結果として、患者・国民からの信頼を得ることをめざす。その第一段階として、一般国民の薬剤師に対する認識を把握し、薬剤師に行動変容を促すための基礎データを作成する。

## 方法

対象 医療関係者を除く20～69歳の男女1,000人。全国を12ブロックに分け、ブロックごとの人口比率に合わせ、年齢層と性別を考慮して回答者数を割り付けた。

調査方法 Webアンケート(回答は選択式)

実施時期 平成20年10月

質問項目 薬剤師法第1条に規定される調剤、医薬品の供給その他薬事衛生に係る業務や責任等に関連し、行動変容が期待される5領域について62項目の質問を作成した。

質問は4種類に分類し、2種類の尺度で回答を得た。

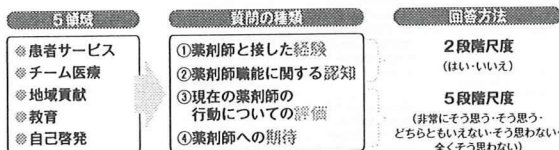


表1 薬剤師と接した経験・薬剤師職能に関する認知の有無と現在の薬剤師の行動についての評価・薬剤師への期待との関連性

経験・認知	評価・期待	経験・認知の有無					現在の薬剤師の行動についての評価					薬剤師への期待							
		あり	なし	不明	不明	不明	よい	まあよい	まあ悪い	悪い	不明	よい	まあよい	まあ悪い	悪い	不明			
51.3%	病院で処方された薬に副作用について説明を受けたことがある	79.9%	64.3%	55.0%	42.7%	79.7%	69.4%	65.5%	64.5%	62.2%	79.9%	64.3%	55.0%	42.7%	79.7%	69.4%	65.5%	64.5%	62.2%
49.1%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	78.2%	62.5%	51.9%	41.5%	78.6%	74.3%	64.4%	62.9%	59.7%	78.2%	62.5%	51.9%	41.5%	78.6%	74.3%	64.4%	62.9%	59.7%
45.9%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	80.2%	63.6%	54.0%	44.9%	78.4%	74.1%	65.1%	64.5%	61.4%	80.2%	63.6%	54.0%	44.9%	78.4%	74.1%	65.1%	64.5%	61.4%
33.1%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	75.9%	62.5%	52.0%	42.6%	79.5%	69.8%	63.4%	65.6%	68.9%	75.9%	62.5%	52.0%	42.6%	79.5%	69.8%	63.4%	65.6%	68.9%
18.7%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	66.7%	49.3%	42.2%	31.2%	69.0%	60.1%	55.2%	52.1%	50.8%	66.7%	49.3%	42.2%	31.2%	69.0%	60.1%	55.2%	52.1%	50.8%
16.1%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	69.5%	74.0%	72.9%	55.6%	66.7%	76.1%	76.2%	74.0%	72.4%	69.5%	74.0%	72.9%	55.6%	66.7%	76.1%	76.2%	74.0%	72.4%
14.9%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	78.7%	51.4%	41.3%	35.1%	79.7%	64.5%	67.1%	63.8%	67.1%	78.7%	51.4%	41.3%	35.1%	79.7%	64.5%	67.1%	63.8%	67.1%
14.4%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	78.5%	67.4%	59.9%	59.0%	76.0%	66.0%	68.1%	66.0%	69.7%	78.5%	67.4%	59.9%	59.0%	76.0%	66.0%	68.1%	66.0%	69.7%
8.2%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	61.7%	60.3%	58.0%	60.3%	77.9%	72.1%	69.1%	70.6%	63.4%	61.7%	60.3%	58.0%	60.3%	77.9%	72.1%	69.1%	70.6%	63.4%
7.4%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	63.5%	51.4%	43.2%	51.4%	68.2%	62.2%	58.5%	55.4%	55.4%	63.5%	51.4%	43.2%	51.4%	68.2%	62.2%	58.5%	55.4%	55.4%
6.8%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	72.0%	58.2%	48.1%	39.2%	72.1%	61.2%	53.0%	58.7%	58.7%	72.0%	58.2%	48.1%	39.2%	72.1%	61.2%	53.0%	58.7%	58.7%
6.7%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	87.8%	68.5%	57.4%	52.7%	70.6%	60.1%	77.8%	65.7%	65.7%	87.8%	68.5%	57.4%	52.7%	70.6%	60.1%	77.8%	65.7%	65.7%
5.4%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	70.2%	59.0%	48.2%	41.6%	69.0%	60.9%	55.0%	53.9%	57.2%	70.2%	59.0%	48.2%	41.6%	69.0%	60.9%	55.0%	53.9%	57.2%
3.7%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	82.3%	48.6%	56.8%	56.8%	64.9%	54.1%	48.6%	64.9%	59.5%	82.3%	48.6%	56.8%	56.8%	64.9%	54.1%	48.6%	64.9%	59.5%
3.4%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	68.1%	64.9%	48.1%	39.2%	70.2%	61.2%	53.0%	58.7%	58.7%	68.1%	64.9%	48.1%	39.2%	70.2%	61.2%	53.0%	58.7%	58.7%
58.6%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	69.2%	59.2%	45.2%	35.2%	69.6%	63.1%	57.3%	56.8%	56.8%	69.2%	59.2%	45.2%	35.2%	69.6%	63.1%	57.3%	56.8%	56.8%
57.2%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	74.5%	63.1%	51.6%	42.5%	75.6%	67.3%	62.8%	63.6%	60.9%	74.5%	63.1%	51.6%	42.5%	75.6%	67.3%	62.8%	63.6%	60.9%
42.2%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	78.1%	69.7%	59.5%	45.3%	80.3%	72.0%	67.1%	64.7%	61.8%	78.1%	69.7%	59.5%	45.3%	80.3%	72.0%	67.1%	64.7%	61.8%
39.5%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	74.9%	65.3%	54.4%	46.8%	76.5%	67.6%	63.8%	62.5%	59.8%	74.9%	65.3%	54.4%	46.8%	76.5%	67.6%	63.8%	62.5%	59.8%
37.7%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	74.1%	65.2%	54.3%	44.2%	76.5%	70.2%	67.4%	69.1%	64.4%	74.1%	65.2%	54.3%	44.2%	76.5%	70.2%	67.4%	69.1%	64.4%
36.7%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	76.6%	66.5%	51.8%	41.4%	76.3%	67.6%	63.2%	65.8%	62.4%	76.6%	66.5%	51.8%	41.4%	76.3%	67.6%	63.2%	65.8%	62.4%
34.2%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	63.9%	46.2%	41.3%	31.3%	69.6%	60.8%	54.5%	51.9%	48.9%	63.9%	46.2%	41.3%	31.3%	69.6%	60.8%	54.5%	51.9%	48.9%
34.2%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	69.8%	60.7%	54.4%	41.8%	71.7%	64.6%	62.6%	60.2%	60.4%	69.8%	60.7%	54.4%	41.8%	71.7%	64.6%	62.6%	60.2%	60.4%
29.3%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	78.4%	72.2%	60.8%	44.2%	79.5%	70.2%	67.4%	69.1%	64.4%	78.4%	72.2%	60.8%	44.2%	79.5%	70.2%	67.4%	69.1%	64.4%
26.3%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	78.9%	69.6%	63.1%	48.3%	79.7%	70.3%	66.9%	71.1%	63.1%	78.9%	69.6%	63.1%	48.3%	79.7%	70.3%	66.9%	71.1%	63.1%
24.7%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	74.1%	65.2%	54.3%	44.2%	76.5%	70.2%	67.4%	69.1%	64.4%	74.1%	65.2%	54.3%	44.2%	76.5%	70.2%	67.4%	69.1%	64.4%
20.0%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	77.5%	70.0%	57.5%	43.0%	79.0%	70.0%	66.0%	66.0%	68.0%	77.5%	70.0%	57.5%	43.0%	79.0%	70.0%	66.0%	66.0%	68.0%
17.5%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	65.9%	49.6%	49.3%	39.9%	62.1%	51.9%	48.9%	59.8%	46.8%	65.9%	49.6%	49.3%	39.9%	62.1%	51.9%	48.9%	59.8%	46.8%
14.3%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	76.0%	72.0%	64.6%	49.7%	70.4%	73.7%	67.4%	69.1%	64.4%	76.0%	72.0%	64.6%	49.7%	70.4%	73.7%	67.4%	69.1%	64.4%
14.3%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	66.4%	43.6%	41.5%	31.8%	69.4%	61.1%	55.6%	54.9%	58.6%	66.4%	43.6%	41.5%	31.8%	69.4%	61.1%	55.6%	54.9%	58.6%
13.1%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	77.6%	69.2%	62.9%	52.4%	76.2%	63.6%	68.6%	70.6%	69.9%	77.6%	69.2%	62.9%	52.4%	76.2%	63.6%	68.6%	70.6%	69.9%
13.1%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	69.6%	51.4%	42.7%	32.1%	69.5%	61.5%	56.1%	54.7%	50.9%	69.6%	51.4%	42.7%	32.1%	69.5%	61.5%	56.1%	54.7%	50.9%
14.1%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	79.4%	74.5%	68.7%	52.8%	78.0%	67.4%	69.5%	70.2%	70.2%	79.4%	74.5%	68.7%	52.8%	78.0%	67.4%	69.5%	70.2%	70.2%
13.0%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	76.9%	64.6%	57.7%	50.0%	77.7%	70.0%	65.4%	69.2%	63.9%	76.9%	64.6%	57.7%	50.0%	77.7%	70.0%	65.4%	69.2%	63.9%
12.9%	病院で処方された薬の成分や効果について説明を受けたことがある	72.1%	60.5%	55.8%	45.7%	74.0%	65.1%	61.9%	64.3%	58.6%	72.1%	60.5%	55.8%	45.7%	74.0%	65.1%	61.9%	64.3%	58.6%
	小学校や中学校では、 「薬を飲むのはいいこと」 と教わったことがある	73.8%	62.5%	44.9%	33.4%	69.6%	63.2%	51.4%	56.7%	52.9%	73.8%	62.5%	44.9%	33.4%	69.6%	63.2%	51.4%	56.7%	52.9%

## 結果

### 薬剤師と接した経験

処方せん調剤時に薬局を利用した経験のある人は全対象(1,000人)の88.0%、薬局で市販薬を購入した経験のある人は79.7%であり、大部分は接した経験があった。

### 主な結果(表1)

全対象の半数以上が経験していたのは1項目、認知していたのは2項目のみだった。

全体に評価・期待の傾向があった。「薬剤師とは、コミュニケーションがとりやすい」の項目に対する肯定的回答は35.0%だった。

### 薬剤師と接した経験・認知との関係

どの項目において経験がある/認知している人の方が、そうでない人に比べ評価・期待が高かった。以下の3項目に注目して、具体例を示した(図1, 2, 3)。

## 考察

分析A 市販薬購入時に適切な商品を選んでもらった経験

分析B 後発医薬品の変更について説明を受けた経験

分析C 疑わしい点は医師に確認しなければならないことの認知

「薬剤師の説明を受けて治療に取り組み気持ちになった」経験がある人は、評価・期待がいずれの項目でも高かった。

## 薬

薬剤師と接した経験や薬剤師職能に関する認知が、現在の薬剤師の行動に対する評価や薬剤師への期待に結びついている可能性が示唆された。

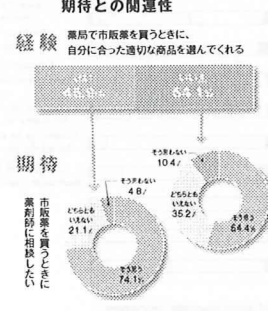
従って、今後国民から評価される職業となるためには、薬剤師の役割に対する理解(経験・認知)を高めていく必要がある。

また、「薬の情報提供」や「相談応答」等の充実を通して国民から期待される存在となるためには、これまで指摘されてきたように「コミュニケーションのとりやすさ」も重要な要素と考えられた。

なお、本研究では薬剤師の広範な役割について訊ねており、今回の発表内容に限らず、焦点を当てる事項によって様々な示唆を与える基礎資料となり得るものとする。

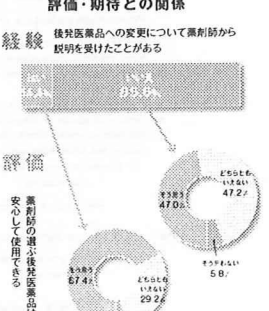
### 分析A

図1 一般用医薬品に関する経験と期待との関連性



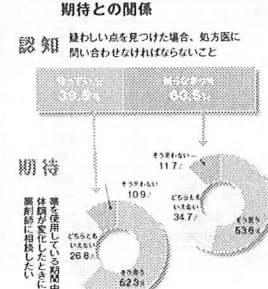
### 分析B

図2 後発医薬品に関する経験と評価・期待との関係



### 分析C

図3 患者の安全確保に関する認知と期待との関係



## 研究者一覧

### 研究代表者

久保 鈴子 (財)日本薬剤師研修センター 常務理事

### 研究協力者(50音順)

遠藤 一司 (社)日本病院薬剤師会 副会長

亀井 美和子 昭和大学薬学部社会薬学教室 教授

七海 朗 (社)日本薬剤師会 常務理事

長谷川 洋一 名城大学薬学部薬学教育開発センター  
実務実習部門 教授

本島 玲子 (株)メディカルトリビューンPT編集室 編集長

(平成22年3月末現在)



